



【XP+キイトルーダ療法について】

(ゼローダ+シスプラチン+キイトルーダ)



様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																						
パロノセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分																						
キイトルーダ注	抗がん剤です	30分																						
シスプラチン注	抗がん剤です	1時間																						
ゼローダ錠	抗がん剤です	朝・夕 内服																						

キイトルーダについては冊子で説明させていただきます。

★治療日は、点滴開始～シスプラチン投与終了までに1000mL以上の水分をとりましょう。

治療翌日、翌々日は食事など通常の摂取量に加えて、1日あたり1000mL程度の水分を追加摂取しましょう。

😊 治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚症状	食欲不振・吐き気																							
	口内炎	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	下痢	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																						
	手足症候群	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																						
	手足のしびれ	手足がチクチクと痛い、赤く腫れる、ひび割れ、水疱が生じることがあるので、保湿剤を使い手足の乾燥を予防しましょう。																						
	色素沈着	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																						
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																						
検査値	白血球減少	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																						
	赤血球減少(貧血)	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	血小板減少	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
	腎機能低下	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						
	肝機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																						
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。